

【第4期（2024/10-2025/2）】
安心・安全テック分科会
活動報告・振り返りまとめ



順不同	委員長	藤田将 (株式会社MJ 代表取締役)
	副委員長	土岐泰之様 (ユニファ株式会社 代表代表取締役 CEO)
	委員	<p>原山青士様 (株式会社H&Eテクノロジー) 西畑進太郎様 (株式会社ニシハタシステム) 浦上悟様 (EMC Healthcare株式会社) 日下部祐介様 (株式会社スマートエデュケーション) 三好冬馬様 (一般社団法人 保育ICT推進協会) 松本健一様 (株式会社ココロヒナタ) 田中秀一様 (株式会社日本標準) 永田哲也様 (株式会社パパスマイル) 佐藤丈彦様 (株式会社ユーボ) 柴崎裕香様 (株式会社sketchbook) 山中健太郎様 (株式会社VisionWiz) 山崎泰河様 (Adora株式会社) 中山智仁様 (Liberty Data Design株式会社) 山本文和様 (株式会社otta)</p>
顧問 アドバイザー	<p>PwCコンサルティング合同会社 古屋様 中村様 玉川大学 乳幼児発達学科 教授 大豆生田 啓友 様 学校法人正和学園 理事長 齋藤 祐膳 様 駒沢女子短期大学 保育科 教授 猪熊 弘子 様 多摩北部医療センター小児科部長 小保内 俊雅 様</p>	



Our Goal 01

ガイドブック作成及び普及

こども家庭庁と連携し、ガイドブックの作成と普及活動を推進。



Our Goal 02

ICTラボの安心安全テック分野

実証事業の共有化を行い、ベンダーや各保育団体と連携して実証事業の実施および事例共有を進める。



Our Goal 03

サービスマップの拡充・普及

サービスマップの内容をさらに拡充し、広く普及を目指す。



Our Goal 04

**安全テックのデータ利活用
の方向性**

安全テック分野におけるデータ活用の方向性や可能性を明確にしていく

主たる活動 : サービスマップの作成

1. 施設の安全管理に必要なタスクの洗い出し

- 保育ICT推進協会 三好様が、スプレッドシートを作成

2. 市場にある安心安全テック製品の調査

- 委員参加者が、自社や知っているテック製品を記入

3. 海外における活用事例の調査

- パパスマイル 永田様が、海外事例を記入

4. webサイトへ掲載するサービスマップまとめ

- (株)MJにて、webサイト構築に向けディレクション

5. 印刷物として配布するガイドブックまとめ

- (株)MJにて、印刷物作成に向けディレクション

成果やアウトプットについて -サービスマップ-



各社様から紹介いただくサービスを、協会のHPに掲載する方向で調整しています。

サービスマップ原稿：委員会参加ベンダーより収集

番号	業務時間帯	タスク	重要度 (1小～5大)	対応技術	想定される事故やヒヤリハット	テクノロジーの活用によって期待される効果	事業者名	サービス名	サービス URL	各社の対応できるテック・サービス	使用技術
1	入所前	保育室の安全確認および準備作業	2	IoTセンサーやAIカメラによる室内環境のリアルタイムモニタリング	遊具や備品の破損に気づかず子どもがケガをするリスク 環境条件が適切でないため子どもの体調に影響が出る可能性	環境モニタリングによる迅速な問題発見と対応					
2	登園時	子どもの健康チェック(体温、症状等)及び欠席確認	2	非接触型体温計やウェアラブルデバイスでの体温測定、ICTによる健康情報管理	発熱や体調不良に気づかず集団感染が広がるリスク 欠席理由から流行り病の確認を行う。	体調不良の早期発見と流行り病の拡散防止	ユニファ株式会社	ルクミー体温計	https://lookmee.jp/thermo/	保育ICTに連動した体温計	非接触検温
3	登園時・送迎バス	乗車・降車管理	4	バス内のAIカメラやIoTデバイス、GPSやビーコンによる位置情報のリアルタイム追跡	乗降時の見落としにより子どもが車内に取り残されるリスク	乗車中の安全確認と子どもの取り残し防止	株式会社MJ	Brain ~バス予約管理システム	https://mj-inc.jp/safety/	ICT・当日乗車予約・乗車時リストから確認・園で降車した確認・保護者へ降車通知	ICT
							株式会社ココロヒナタ	リビあげfor見守り	https://cohina.jp/mimamori/	顔認証の登降園管理	顔認証
4	朝夕の登降園時	出席確認および報告	2	顔認証システムやRFIDタグ、ビーコンを用いた自動出欠確認	出席確認の誤りによる見落とし 保護者からの重要な情報が伝達されず対応が遅れるリスク	正確な出欠管理と迅速な情報共有	株式会社MJ	Brain-beacon	https://brain-beacon.mj-inc.jp/?ga=2.249572422.1326510838.1722912235-1015835670.1676870461	beacon	beacon
					アレルギー対応ミスによる健康被害	アレルギー対応の精度向上と食事の事故防止					



■ 登録件数(フォーマット作成件数): 8社

株式会社MJ／ユニファ株式会社／株式会社日本標準(余白文化)／EMC Healthcare株式会社
／株式会社ニシハタシステム／株式会社ココロヒナタ／株式会社sketchbook／
株式会社とりんく

■ 未登録件数(フォーマット未作成件数): 8社

進捗等ございましたらご報告いただけますと幸いです。

■ 掲載数: 10商品(サービス)

現在、完成分は7商品(サービス)です。引き続きよろしくお願いたします。

■ 登録件数(フォーマット作成件数): 8社

株式会社MJ／ユニファ株式会社／株式会社日本標準(余白文化)／EMC Healthcare株式会社
 ／株式会社ニシハタシステム／株式会社ココロヒナタ／株式会社sketchbook／
 株式会社とりんく

Brain beacon 該当安全管理シーン

https://brain-beacon.mj-inc.jp/

該当安全管理タスク: 出席確認および報告

■対応できるテック・サービスの特徴

- テック・サービス: beacon
- 詳細・特長1: 園児がリアルタイムでどこにいるのか、室内にて管理できます。
- 詳細・特長2: 登園時の園児の居場所が確認できます。

■導入により期待できる効果

- 解決内容: 登園時にbeaconを受信し、ICT欠席連絡と突合することで、遅不足を可視化できます。
- データ収集内容: beaconを当日初めて受信した時刻・場所。

■価格

価格(税込) ¥XXXX/月～ ※その他ご要望によってオプション機能があります

園児数・職員数による価格変動 有

企業情報
 会社名: 株式会社MJ
 代表取締役CEO: 藤田 将
 所在地: 大阪府大阪市西区土佐堀2-1-6 TOSABORIVY2F
 企業URL: https://mj-inc.jp/
 問合せ先: 06-6479-0508

ルクミー 午睡チェック 該当安全管理シーン

ルクミー 午睡チェック https://lookmee.jp/gosui/

該当安全管理タスク: 午睡時の安全対策

■対応できるテック・サービスの特徴

- テック・サービス: 午睡センサーと午睡チェックアプリ
- 詳細・特長1: ルクミー午睡チェックは、睡眠中の園児たちを見守る保育施設専用の午睡チェックサービスです。
- 詳細・特長2(任意): センサーが体動を検知し、アプリが体の向きを自動で矢印で記録。午睡チェック業務の負担を軽減します

■導入により期待できる効果

- 解決内容: 午睡中の業務負担、精神的負担の軽減、園児死亡事故防止
- データ収集内容: 園児の体動(仰向け/うつ伏せ/右向き/左向きの4方向)

■価格

価格(税込) 月額: ¥16,000/台～ ※園児1名に1台 初期導入費用: ¥250,000

園児数・職員数による価格変動 有

企業情報
 会社名: ユニファ株式会社
 代表取締役CEO: 土岐 善之
 所在地: 東京都千代田区永田町2丁目17-3 住友不動産永田町ビル1階
 企業URL: https://lookmee.jp/
 問合せ先: ルクミーWEBサイト「見積・お問い合わせ」 フォームからご連絡ください

今まで作成した「必要タスク及びサービス一覧」を、ガイドブックに作成中

【ページ構成案】 ※紙での印刷をふまえ、20ページまたは24ページを想定。割付は内容を精査して変更の可能性あり。

p1	表紙
p2	目次
p3	安心安全テックって？ ・概要 ・重要性
p4	時間帯保育業務のタスクを紹介
p5~16	各テクノロジーに対するタスクと導入効果 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 室内活動 <input type="checkbox"/> 園外活動 <input type="checkbox"/> 午睡

続き	各テクノロジーに対するタスクと導入効果 <input type="checkbox"/> その他遊び(プール活動・水遊び) <input type="checkbox"/> 延長保育 <input type="checkbox"/> その他作業関連(ヒヤリハット、研修計画) <input type="checkbox"/> その他不適切保育 (虐待防止・不適正保育の防止、写真の管理) <input type="checkbox"/> その他
p17	事例紹介(海外版)
p18	参考資料 事故報告資料
p19	安心安全テックの未来
p20	裏表紙

○ 2025年4月

- 2025年4月から始まる **こどもの事故防止に関する関係府省庁連絡会議への「こどもDX協会」としての参加**
 - 安心安全テック分科会として、テクノロジー活用や現在地の共有・こども政策 DXからの提言
 - 安全管理DXの打ち込み
 - 施設管理プラットフォーム 監査 DX項目に事故報告、ヒヤリハットのデータを追加する
 - 目標を2026年4月の施設管理プラットフォームに事故報告・ヒヤリハットデータの収集を義務付ける
 - 安全管理に対する ICTや安全テクノロジーの活用促進



施設管理PFに事故報告・ヒヤリハットの組み込み

こども家庭庁のDX方針に「安全管理DX」を組み込む具体策

①監査DX(施設管理プラットフォーム)

事故・ヒヤリハット報告のデジタル化と共有

- 保育施設の安全管理データを自治体の監査システムと統合し、データ駆動型の監査を実現。
- 事故報告フォーマットを標準変更、全国の施設で統一入力（Excelや手動を廃止）。
- 施設ごとの事故発生率やヒヤリハット情報を分析し、監査結果と連携。

◆ 導入効果

事故発生→報告→
対策のリードタイム短縮
(従来の1/2になど)

自治体の監査業務の効率化
(報告手書き削減)

事故の発生状況が可視化